

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年2月20日

事業所名 こぼんはうすさくら川越中央教室

保護者等数(児童数) 30 回収数 21 割合 70%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1	0	0	おもちゃの場所などしっかり決められていて子どもにわかりやすく工夫されています。	安心安全に遊べるように今後も活動スペースの確保に努めます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	0	0	1	こぼんに通ってからできる事が増えました。	職員個々の専門知識を職員間で共有できるように研修等行ってまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20	0	0	1	面談時や日々の連絡等で話をしており、それが反映されていると考えます。	今後も保護者様や関係機関との連携を図り、ご利用のお子様への支援につなげていきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	0	0	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	0	0	0	1つ1つ、目に見える形で子どものスキルアップを日々感じています。	支援計画の内容以外でもお子様に寄り添った支援を行ってまいります。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	0	0	1	・季節ごとのプログラムもあり工夫されていると思います ・プログラム内容は充実していると思います	・できる事を増やすことはもちろんですが、好きな事や得意なことを見つけれられるようにプログラムを考えています
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	5	11	・話を聞かないのでわからない	
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	8	6	1	6		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1	0	0	・連絡帳でその日の様子を丁寧に教えて貰っています ・連絡帳を通じて情報交換はできていると思います ・一日の子どもの様子を細かく毎回教えて貰います	今後も連絡帳の活用はもちろん、送迎時などにもお話をさせていただいておりますので継続していきます。
保護者 への 説明 等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	0	0	1		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	2	0	5	・夏まつりなど保護者が参加できるイベントが増えたと思います ・保護者が顔を合わせることはあるが連携というわけではない	コロナが落ち着き、季節イベントや親子教室も開催していますので、保護者様にもぜひご参加いただきたいと思っております。ご参加いただく事で連携につなげていければ幸いです。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	0	0	1	日々の生活や進路の事など、困った時にすぐに対応していただき、心の支えとなっています。	面談以外でもお困り事や相談事がございましたら随時お時間を取り対応いたしております。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	0	0	1	連絡帳を使ってのやりとりを通じて、伝達はなされていると思う	必要の際は別途時間を設けてお話を伺っています。さらに教室の様子や情報などは、毎月のコぼんだよりやプログラムのご案内、また別途のお知らせ等わかりやすい情報伝達を心がけています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	0	0	0	定期的にごぼんだよりなどの配布があるのでわかりやすいです。	ホームページやこぼんだよりで積極的に活動報告や運営に関する情報をお伝えしています。 自己評価についてはこぼんはうすさくら本部のホームページにて各教室毎の自己評価を掲載しております。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	21	0	0	0		
	非常 時 等 の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	2	0	4	
21 非常災害の発生に備え、定期的避難訓練、救出、その他必要な訓練が行われているか		11	3	0	7	記憶にないですがうちの子どもが実際に実施しているかわからない。	避難訓練は集団プログラムに組み込んで定期的に行っています。
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	20	1	0	0	・自分からくるまと言って興味を示している為、通う事に対して良い感情を持っていると思う ・毎回楽しそうに通っています ・幼稚園に行くよりも楽しみにしています ・通う道のりを覚えていて、毎回楽しみにしています	登室がお子様の楽しみの一つとなれている事とても嬉しく感じます。今後も楽しく過ごして貰える様、運営してまいります。
	23 事業所の支援に満足しているか	20	0	0	1	・子どもの成長を感じる事で満足している ・通いはじめてからの半年で沢山の成長を感じられます。指導員の方にとっても感謝しています ・親子共に常に気遣って下さり、又、子どもも大好きです。	当事業所をご利用後にお子様の成長を感じて頂いているのを改めて知り、職員一同嬉しく思っています。これからもお子様のステップアップのお手伝いをさせていただきます。

416 20 6 41

86%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら川越中央教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0		
	2 職員の配置数は適切であるか	11	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋を用途別に仕切るのは難しい為、おもちゃ棚をあらかじめ集約して仕切り、出し入れを指導員を介して行っている</li> <li>・写真カードの利用</li> <li>・環境の構造化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところ問題はないが、今後車椅子利用の方がきた場合は通路が狭いなど問題が出てくる恐れがあると思います</li> <li>・入居しているビルがそもそも適応していないと感じる</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用後は必ず丁寧に清掃と消毒をしています</li> </ul>	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士で情報共有をすることで個別の目標設定の見直しを行い、支援方法の変更共有をしています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に対してなぜ？を今後は話し合っていく必要があると感じます</li> </ul>
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向は把握し、できる限り教室運営に反映しています</li> </ul>	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年本部ホームページでの公開となっているため評価公開時にはお便りでお知らせしています</li> </ul>	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	8		
適切な支援の提供	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内で職員による研修会は難しいので、オンラインで受講できる研修を積極的にうけています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、非常勤(パート・アルバイト)職員の研修機会の確保が難しいが知識共有をしっかりとするため研修機会を確保していく</li> <li>・全くない訳ではないが、十分ではない</li> </ul>
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談を定期的に行い、相談しながら作成しています</li> </ul>	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	4		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	1		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発放デイ間でも協力して行こなっています</li> </ul>	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを決めたり季節のものを取り入れ、固定化しないようにしている</li> <li>・固定化しないよう、且つ積み重ねていけるようなプログラムを計画しています</li> </ul>	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11	0		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳の内容を確認し特記事項の確認を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前もってある程度行っているが役割分担までは難しい</li> </ul>
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づいた点や気になる点の情報共有や日報への記入を行っている</li> </ul>	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日報に記載しています</li> </ul>		
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員さんとも連携して行っています</li> </ul>	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管に加えて担当する保育士も会議に参加できると良いと思うが人と時間に余裕がなく難しい</li> </ul>
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて支援センターや幼稚園と連携している</li> </ul>	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-		・該当なし
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-		・該当なし
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	-	-		・該当なし

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	-	-		・該当なし
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	0		・助言をいただいています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	9		・交流はあるが、一緒に活動するまではできていない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	9		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1	・連絡帳で様子をお伝えする他に必要に応じて電話で直接お伝えをしています ・日々の連絡帳送迎時、必要があれば電話で保護者と相談や情報共有を行っています ・親子登室に参加していただき、教室での支援を見て家庭での取り組みの参考にして貰っています ・面談時に家庭での支援について助言しています	・今後、保護者会と同時開催を行いたいと考えています
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	5		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	・契約時に必ず読み合わせを行い説明しています	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	・連絡帳や電話で相談があった場合、迅速に対応しています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11	0	・今年度は保護者会を兼ねた茶話会や親子教室を開催しました ・親子行事の際、茶話会を開催し保護者間の連携ができるよう関係構築のきっかけ作りをしています ・子どもや保護者からの相談があった際の職員の役割分担はできているので迅速に対応できます	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1		
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	1	・毎月こぼんだよりを発行しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	・視覚支援や口頭のみではなく、文書や通知する配慮を行っています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	8	・町内会に加入し地域行事に参加させていただいています	・事業所に地域の方の招待は行っていません
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	2		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2	・集団プログラムに避難訓練を組み込み行っています	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	1	・契約時に詳細の聞き取りを行い確認しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	2	・契約時に詳細の聞き取りを行い確認しています	
非常時等の対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	2		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	7		・現在身体拘束は行っていません